

ひがが

議会だより

No.33

2018.4.16

発行編集：日之影町議会報編集委員会



春を呼びこむラナンキュラス

平成30年度一般会計予算・特別会計 P2
委員長報告・同意・諮問・条例改正等 P3
一般質問・所管事務調査報告書等 P7
意見交換会・編集後記等・表紙紹介 P10

3月定例議会

平成30年度第1回定例会は、2月28日に開会し、同意2件、諮問2件、議案29件を原案通り承認・可決した。一般質問には3人が登壇し町長に質問、3月19日に閉会した。

平成30年度
一般会計
予算

「笑顔あふれる、 光さすまち、ひのかげ」

総額 46億1600万円



《温泉駅横のTR列車の宿事務所》

歳出の主なもの

- 総務費 (マイクロバス更新事業・渓谷祭り補助金等) 7億3590万円
- 民生費 (社協補助金・介護保険繰出金・保育園扶助費等) 8億6754万円
- 衛生費 (病院事業・町簡易水道事業繰出金等) 4億350万円
- 農林水産費 (農業法人運営補助金・有害鳥獣対策費等) 7億2109万円
- 商工費 (商品券発行補助金・温泉駅施設管理委託料等) 1億9285万円
- 土木費 (道路新設・改良費・町営住宅管理費等) 5億7271万円
- 教育費 (小・中学校管理費・青年団・公民館運営補助金等) 3億354万円
- 公債費 (借入金償還金等) 5億6290万円

特別会計	平成30年度	平成29年度	(増 減)	増減率%
病院事業会計	6億5300万円	6億5400万円	100万円減	△0.2
国保事業	6億5248万円	8億1996万円	1億6748万円減	△20.4
簡易水道事業	7333万円	8003万円	670万円減	△8.4
奨学資金事業	1467万円	1357万円	110万円増	8.1
農業集落排水事業	1348万円	1358万円	10万円減	△0.7
介護保険事業	6億9862万円	6億6015万円	3847万円増	5.8
後期高齢者医療	6499万円	6,722万	223万円減	△3.3

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会とは、新年度予算の概要を、各課ごとに詳細にわたり集中して審査するもので、全体の概要を把握できる重要な委員会です。委員長を含む議員全員で構成され、3日間にわたり質疑応答を行ないました。

委員会では、合わせて200問以上の質疑がなされ、担当課長、補佐、係長の答弁を受け、審査を終了しました。3日目は、町長に6項目の総括質疑を行いました。

	午 前	午 後	出席者
1日目 (3月7日)	全体概要 総務課・会計課 町民課	税 務 課 建 設 課 農林振興課	担当課長 補 佐、主 幹 係 長
2日目 (3月9日)	病 院 保険センター	教育委員会 地域振興課	担当課長／事務長 補 佐、主 幹 係 長
3日目 (3月13日)	総括質疑		町 長 副町長 各課長

予算審査特別委員会委員長報告書

委員長 一水 輝明

本委員会に付託されました、平成30年度日之影町一般会計予算並びに、特別会計予算の8議案につきまして審査報告いたします。

一般会計当初予算は、前年度とほぼ同額の46億1600万円で編成され、歳入・歳出とも事業の投資効果等も勘案しながら効率かつ公平に配分されており、依存財源が多く占める限られた財源の中にあつては、一定の評価はできるものである。施策については、「第5次日之影町長期総合計画」を基本に、7項目の重点施策の実現に向けて「世界農業遺産」「ユネスコエコパーク」等の世界ブランドを生かし、「森林セラピー」の推進を計りながら本町の 農業・商工観光の発展と、地域活性化に繋がるよう更に努力を求めるものであります。

費節減に努めながら事業を実施していくことが肝要である。また、株式会社「ひのかげアグリファーム」の運営にあつては、集落協定との連携をはかりながら、担い手の育成や円滑な受委託作業、農産物の生産販売、技術の向上に努め、周年栽培を確立することが、今後の課題であります。

一方、本年度実施設計予定の、道の駅「青雲橋」のリニューアルや、32年度完成を目指す新庁舎建設については、可能な限り町民の合意形成に努めながら、利用しやすい施設設計や機能、安全な防災拠点施設となることを考慮し、経

町立病院については、健全な運営はもとより「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、関係機関との連携を図りながら新たな意識改革のもと「ささえる医療」を目指し、町民から親しまれる医療機関としての機能を維持することが重要であると思えます。

また、高千穂日之影道路の整備など、これまで以上に長期展望を持った地域振興が重要になる中、後継者育成や人口減対策の成果が表れることを期待します。我々議会も、行政・町民と一体となり本町の社会福祉向上に努めてまいります。

平成30年度日之影町一般会計予算並びに特別会計予算8議案については、本会議において可決すべきものと決定しました。

◆総務文教常任委員会

新庁舎建設

いよいよ
スタート

問 行財政運営について

平成30年度当初予算は、前年とほぼ同額であります。大型のハード事業を控え、平成30年度以降の財政運営は厳しい状況にあり、行財政改革の中で限られた財源の重点的、効率的な配分について伺います。

町長 平成30年度予算編成については重点的、効率的に第5次長期総合計画の7つの項目との整合性を踏まえ推進してまいります。

問 庁舎建設について

庁舎検討委員会での検討・協議及び、町民アンケートにおける意向集約等はその様に反映し、整合性をとられるつもりか伺います。



《谷下公民館調査の様子》

町長 基本構想と住民アンケートを精査し、基本計画は委員会設置の答申を踏まえて判断したい。

問 地域連携とコミュニティ活動の推進について

自治公民館は、地域住民にとって母体組織である。しかし、避けようもない高齢化が進んでおり、その結果、環境の保全、更にはそれらを取り巻く担い手不足が、危惧されると考えるが所見を伺います。

町長 先日、ふれあいネットワーク、明日のみやぎづくり表彰を受けたところである。今後は自助・公助・共助のバランスのとれた町民がささえ合う町づくりを目指します。

問 病院医療サービスと地域医療機関としての役割について

町立病院の医療サービスについては、救急医療体制を維持し地域医療を支え、地域包括医療の拠点として住民の検診や疾病予防事業を展開していく事が重要である。そこで、「地域包括ケアシステム」の構築に向けての人材の確保と育成、併せて医師との連携の強化についての町長の所見を伺います。

町長 「地域包括ケアシステム」

を切れ目なく一本化するため「在宅医療会議」「地域ケア会議」を踏まえ、人材育成を図り、他の機関とも連携しながら、幅広い分野に向けて構築をはかります。

◆経済建設常任委員会

世界ブランド
をどう活かすか？

1 農林業の振興について

問 農畜産物の生産拡大と所得の向上、農地の集積、ひのかけアグリファームの今後の展開、新規作物の導入など具体策と新規就農者に対する新たな支援策を伺う。

町長 経営の安定が図られるよう就農支援を含め、町独自での研修会等を開催し、又ひのかけアグリファームについては、水稻を中心に受託作業の充実に努め、冬期の作業の拡充にも力を入れたい。新規作物の導入については、本町の狭い土地で収益性の高い品目等はないか考えて行く。

林業については町単事業の活用、低コスト化、素材生産業者との意見の交流等の開催、循環型林業（40〜50年）の確立が出来るよう考えて行く。



《ユネスコパーク登録の見立渓谷》

2 世界農業遺産について
問 世界農業遺産、祖母、傾、ユネスコエコパーク認定を受けた。本町独自の森林セラピーと結びつけ観光振興に生かせるか伺う。

町長 エコパークの専門部会の設置や、延岡市・西臼杵との協議、ガイドの役割が重要である。合わせて、一般企業との連携等成果に繋がるよう推進していく。

3 六次産業化について

問 六次産業化への取り組みも始まっているが、更に本町の魅力を体感する事の出来る施設、民泊などの宿泊施設への支援策を伺う。

町長 六次産業化に向けては設備投資が多額であるため、町単独でふる里応援事業（11人）や、宿泊施設等への支援も行なっている。

4 有害獣対策について

問 捕獲された猪、鹿の有効活用策はないか伺います。

町長 ジビエ料理等の活用については厳しいものがある。民間の方が実験的に行っており、町としてジビエ利用施設の設置の考えは今のところない。

本町出身の新教育長に期待

■ 同意2件

- ・副町長に、工藤裕士氏を選任。
- ・教育長に、橋本範憲氏を選任。

■ 諮問2件

- ・人権擁護委員に細木栄子氏を推薦。
- ・人権擁護委員に甲斐秀明氏を推薦。

■ 条例の制定1件

- ・日之影町行政財産使用料の制定。（行政財産の使用について、使用料、徴収方法、減額又は免除の規定を定めるもの）

■ 条例の一部を改正する

条例の主なもの

- ・日之影町国民健康保険条例。（本年度より、県が町村とともに保険者となり、安定的な財政運営を図るもの。）
- ・日之影町介護保険条例。（第七期介護保険事業計画の策

定に伴い、基準額が500円増の月額6100円に改定。）

- ・議員の報酬費用弁償及び期末手当に当に関する条例（議員の報酬費用弁償を、4.7%から9.3%に改めるもの。…次期選挙より。）

■ 日之影町公の施設に係る指定管理者の指定

- ・鹿川地区交流センターの管理者に鹿川地区活性化協議会を指定。（5年間）
- ・TR列車の宿の管理者に（株）村おこし総合産業を指定。（1年間）

■ 日之影町道路線の認定

- ・一の水長谷川線（90M）を認定。

■ 工事請負契約の締結

- ・東深角西線道路災害復旧工事（木田建設）
 金額 6566万円

平成29年度
一般会計
補正予算

ひのかげの未来に夢を！

一般会計 歳入歳出補正額
補正後の総額

3億8122万円増額
53億7540万円



《リニューアル予定の道の駅「青雲橋」と朝市風景》



《神楽まつり道の駅より舞い込み》

歳出の主なもの

◆総務費

(水源の里対策費及び町長選挙費等)

1227万円減額

◆民生費

(後期高齢者医療制度負担金等)

899万円減額

◆衛生費

(病院事業会計繰出金等)

3553万円追加

◆農林水産業費

(合板・生産性強化対策事業補助金)

(中山間地域総合整備事業分担金等)

7325万円追加

◆商工費

(観光施設整備事業費等)

3億6555万円追加

◆土木費

(町道改良事業等)

2936万円減額

◆消防費

(消防団員報酬等)

143万円減額

◆災害復旧費

(過年発生土木災害復旧費等)

2520万円減額

◆諸支出金

(子育て応援基金費等)

730万円減額

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

観光施設整備は？

町長 設置状況を調査し計画的に整備する



飯干 静香 議員

問 見えづらく不要となったものの対処方を伺う。

町長 多種多様にわたる団体から設置していることから、調査の上関係機関などと連携をとり対処する。

問 「温泉駅」の案内表示が少ないのでは。「日之影温泉」と名称を変えてみてはどうか。

町長 検討課題としたい。

問 施設案内板・ベンチ等は風雨に耐えられる材質のものにしてみてもどうか。

町長 環境・景観・地域に見合ったものを考えている。

問 行楽シーズンを迎えるにあたり、親切丁寧なおもてなしは大丈夫か。

町長 景観にも配慮して、情報提供ができるようにしていく。世界農業遺産・ユネスコエコパーク・高速道路網の整備により案内板の整備は大変重要である。案内板などを整備する際は、関連する協議会との連携を図り、関係地域で関連性のある案内板を整備していく必要がある。



《竹ノ瀬全風景》

高齢化社会の現実！に危機感！

町長 最大限の配慮を考える
『道の駅青雲橋
リニューアルに期待する』



甲斐 陸彦 議員

問 50数年の営業に幕を閉じた宮崎銀行撤退後、特に交通弱者である高齢者への影響と対策の見解を伺う。

町長 利用者の不便を少しでも取り除いていただくようお願いした。年金の受け取りは、他の金融機関に移された方が多数いると聞いている。宮崎銀行に替わる金融機関もあるので、大きな影響はないと感じている。

問 本町のような中山間地において、高齢者の免許返納者に対して、居住地と交通手段を照らし合わせた時、支援の格差が必要ではないか？さらには、返納によって引きこもりも予想される。各機関と連携したケアも必要と考える。

町長 昨年の4月から、すまいるバスとタクシー利用券を交付している。本町のような中山間地域では、運転免許は手放しにくい事から、住民の生活を支える持続可能な公共交通体系の構築に向けた検討を進めていく。

問 道の駅青雲橋リニューアルは、町民の大きな期待と希望を感じている。他の道の駅との差別化が必要であり、どう生かすのかを示すことによって、詳細設計にも影響すると考えるが、町長のコンセプトを伺う。

町長 これまでの道の駅の機能に加えて、地域の課題を解決する場と考えている。日之影にまた来たいと思ってもらえるよう、自然景観や栗・柚子といった高品質の食材を強みとし、キーワードである「癒し」を追求し、居心地の良い空間をコンセプトに詳細設計を進めていく。

『二元代表制である
地方自治に危機』

問 全国的に議員のなり手不足が懸念されている。本町に於いても正月の新聞に掲載された記事から、町民の間で不安の声がささやかれている。町長の見解を伺う。

町長 全国的になり手不足が大きな問題となっていることは理解している。多様な町民の皆様や若者・女性の立候補に期待をしている。

おひさまのおかげ「青雲朝市」の支援策は？

町長

道の駅の集客対策と合わせ検討する



一水 輝明 議員

問 青雲朝市は、道の駅の活性化や地場産品の開発・地産地消に努め農業振興にも大きく貢献している。また、道の駅リニューアルに伴う朝市の環境整備も必要と思うが、朝市の現状と課題について伺う。

町長 平成27年6月に第1回目を開催し、現在まで33回の開催してきた。これまでポイントカードの導入、町青年団等との特別イベントの開催、「ゆず祭り」等との共同開催など、新鮮で安心安全な農産物・加工品・惣菜などの販売を行い来場者の増を図っている。課題は、出展者が固定しつつあるので、他団体への出店も視野に入れ検討する。

問 道の駅「青雲橋」リニューアルでの位置づけを伺うか？

町長 道の駅リニューアルに向けて、朝市については玄関ポ



《3月18日に開催された青雲朝市》

手前にできる広場や、施設前に3m程度の差し掛けができる予定なので、その部分の活用ができるのではないかと考えている。

問 今後の、集客支援対策と将来展望について伺うか？

町長 朝市は、本町食材・食品をPRするすばらしい取組みで、道の駅野菜生産者グループへの支援や開催告知を防災無線、SNS等を通じて行なうと共に、道の駅の集客対策と合わせて検討する。

JA中央会福良会長と対談

1月30日JAアズムホール中央会の会議室で、JA宮崎中央会福良会長と日之影町議会との意見交換会を行いました。その中で農協改革の一つでもある県下13農協の統廃合で、2023年迄にはやりたいと語られ、今はどこの組合も組合運営がうまくいっており、タイミング的にも非常に良いとのことでした。

子牛セリ市のあり方、TPPによる農家への影響などについても熱く語られ、1時間半位で短い時間でしたが、大変参考になりました。



《JA宮崎中央会長の福良公一氏》

ふるさと日之影から 世界へ発信！

総務文教常任委員会

■調査実施日

平成30年1月16日(火)

■調査場所

西臼杵広域行政事務組合
消防本部、椎谷地区「わら細工たくぼ」

■調査項目

- ・救急、救助業務や防火水槽等の現状と課題について
- ・伝統の技術を継承したふるさと納税返礼品の活用状況

1、西臼杵広域行政事務組合消防本部

- ・課題として救命士の確保、消防士のスキルアップ、到着から搬送までの待機時間の短縮等である。
- ・遠隔地においては、今後は途中合流も検討している
- ・救急車の法定速度以下の運行も患者の刺激や振動回避の為であり、一般の方々への啓発も必要である。

2、椎谷地区「わら細工たくぼ」



《わらの壁掛け》

- ・わら細工は日之影町独自の伝統芸術品であり、県内外から大変注目を浴びている。販路の拡大にも努められ、全国に及ぶ、さらに地元の高齢者雇用は地域の活性化に繋がっている。課題として、視察団が年々増加傾向にあり、道路や駐車場等・作品の展示場の整備が必要で、原料となる稲わらの安定確保、技術者の育成等である。

世界に発信するポテンシャルがある。公益性が高く、町として最大限の支援が必要である。

経済建設常任委員会

1、椋木尾集落水道、林道について

地元との意見交換会での要望もあり、現地調査を実施した。椋木尾林道の終点に水源池があり、大雨が降ると水が濁り、獣害の影響で衛生面でも問題があり、月1回の水槽清掃作業は高齢者となった集落の方々の大変な負担となっている。他にも水源池があるという事で、後日担当職員と集落の方で現地調査をして対応するという事で調査を終える。

2、大日止鼻小水力発電所について

大日止鼻小水力発電所は大人地区の53名の合意形成のもとに「大人発電農業協同組合」として設立に至るまでの5年間大変な苦労があった事が伺える。今後はクリーンエネルギーとして天災などの被害がないことや安定した電力供給がなされ、更に地域活性化につながる事を期待します。



《完成した大日止鼻小水力発電所》

■議会傍聴のご案内

次回の定例会は6月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。議会に対するご意見・ご要望等お聞かせ下さい。

◎問い合わせ 議会事務局 TEL 87-3908

意見交換会

今後の議会活動に

生かす意見！

■大菅地区

日時・平成30年1月29日 午後7時
場所・「やまの館」

大菅地区は楠原、大菅、奥、新畑、松の内、吐の内、谷下と広範囲にもかかわらず大変寒い夜であったが、30名近くの皆様に出席を戴きました。

内容として、農業後継者、有害獣、耕作放棄地の課題をはじめ、高齢者免許返納支援、新庁舎建設プロセス、企業誘致への取り組み、起業支援など幅広い分野で貴重な意見を戴き、今後の議会活動に活かしたいと思えます。

尚、この地区におきましても議員のなり手不足に対する懸念の声を寄せられました。大菅地区の皆さんありがとうございました。



長谷川わけもん会から、

活発な意見！

■長谷川地区

日時・平成30年2月26日 午後7時
場所・長谷川地区高齢者等活性化センター

今回は、長谷川地区（7集落）を対象に意見交換会を行なった。2月下旬の寒い中にも係らず30名以上の参加を頂いた。公民館単位では7箇所目となる。主な意見としては、森林環境税の概要について、異常なる寒さによる牧草の発芽不足、飼料確保、新庁舎建設の進捗状況、議員の

なり手不足と対策、日之影土産の商品開発、増加する空き家対策等、多くの提言・要望がありました。この地区は町内でも大きな公民館なので、政治に対する関心が高く、感心したところです。議会としては、ご意見を十分吸収し反映できるよう、努力してまいります。

多くの皆様のご出席、ありがとうございました。



表紙紹介



今回は、^{だいら}大平集落の新名安幸さんをご紹介します。新名さんは77歳、長年農業の先駆者として貢献され、ランキユラスを中心に家族3人で農業に従事されています。出荷の最盛期は過ぎていましたが、現在、息子さんに栽培を任せ、将来の日之影の農業振興について熱く語られました。また、農業のかたわら日之影町文化財専門員の会長としても、日々活躍されています。

編集後記

野山に新緑が芽生え、桜の花と共に春の訪れを感じるようになり、新年度もスタートを切りました。今年の冬は日本各地で大雪が降り、大変厳しい冬でしたが、そんな中、全世帯を対象としたアンケート調査を終え、新庁舎建設検討委員会を中心に準備が進んでおります。又、まもなく農繁期に入りますが、農作業事故等ないように十分注意され、少しでも時間が空いた時は議会傍聴にもきて頂けると幸いです。

河野 學

発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明

副委員長 甲斐睦彦

委員 佐保満男

委員 河野 學